

2026年6月1日
商工中金

**中堅・中小製造業の事業承継支援に向けた投資ビークルへ出資
～セレンディップ・ホールディングスが設立する100億円規模の投資ビークルへ～**

株式会社商工組合中央金庫（本社：東京都中央区、代表取締役社長：関根 正裕、以下「商工中金」）は、株式会社ものづくり事業承継ホールディングス（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：竹内 在、以下「JMS」）に対し、10億円の出資を決定しました。出資の実行は2026年6月中を予定しています。

JMSは、セレンディップ・ホールディングス株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長兼CEO：竹内 在、以下「セレンディップ」、証券コード：7318）が2026年6月1日に設立した、中堅・中小製造業の事業承継および長期保有投資に特化した投資ビークル（投資事業体）です。

セレンディップはこれまで、事業承継支援、大企業による買収後の統合支援（PMI）、経営改善支援等に取り組み、承継後の経営体制再構築、人財・ガバナンス整備、成長戦略の実行までを一体的に支援してきました。

こうした取組みを中長期的に展開するためには、安定的な資金供給の枠組みが重要です。本件では、商工中金および京都キャピタルパートナーズ株式会社※（本社：京都府京都市、代表取締役：山本 洋史）が出資者として参画し、その立ち上げを支援します。

※京都キャピタルパートナーズ株式会社をGPとするファンドから出資

今後、戦略パートナーの参画を得ながら、総額100億円規模の出資受け入れを目指し、事業承継支援のためのプラットフォームを構築していきます。

商工中金は、2026年3月に公表した「[長期戦略・変革プラン](#)」に基づき、投資銀行機能の強化を進めており、2026年4月にはインベストメント事業本部を設置しました。本件は、事業承継課題の解決および中小製造業の持続的成長を、長期的な資金供給の観点から面から後押しするものです。

商工中金は、今後も投融資機能を組み合わせたオーダーメイド型の金融支援等を通じて、中小企業の成長および地域経済の持続的発展に貢献してまいります。